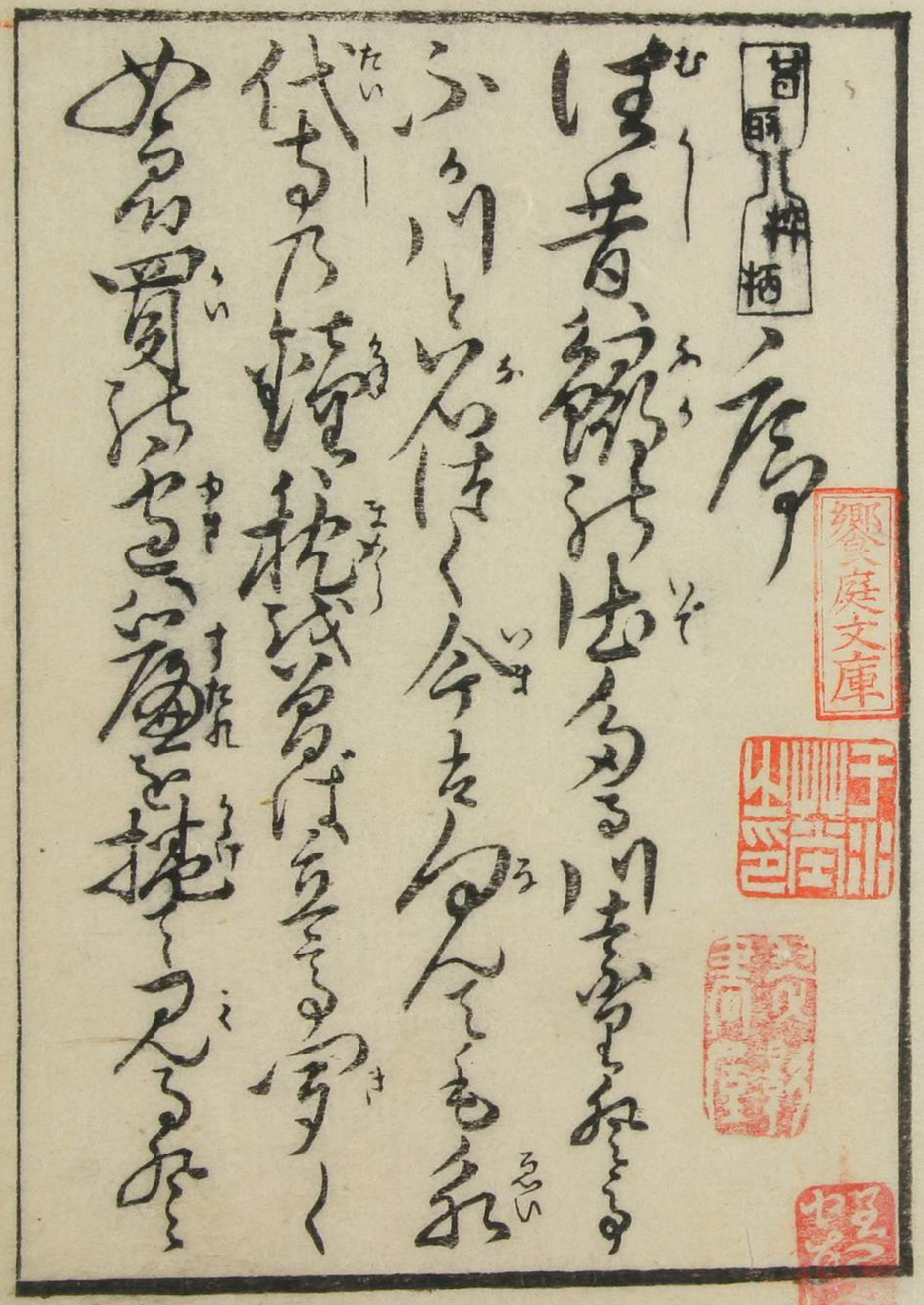
富岡八幡宮

八13
2132
47

47
2132
47

饗庭文庫

139



海藻も同巻とする所
以也 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



自叙

無上佛の威言でも西方
浄土主鍵親伯父叔母
異是ぶも巻湖東平の
碎て通もの [illegible]

遂出し、たい慧親の試ヒも
もれ奇と世〻ゆゑ〻魂を
猪牛舟もゆゑ二脚ほど
もゑ〻ゑんで新樓へ昇れば
きも満ゑ五項てゑゑれ

序三

ゑ〻路銭ゑ一人
堂ん堂ん寺ゑ紙バ一ゑを
ゑ〻ゑ起し石礫ゑ
ゑ〻ゑ千金を投ゑ
帰衣坊賀て猪ゑの剣ゑ

ちるる鳴呼恐づ
怪づしと書くに凡そ不倭
一歩乃小冊坂著といへども
ちぶ氏記念しの八幡鐘
もぐうの春ほぎ乃力もなく

序口

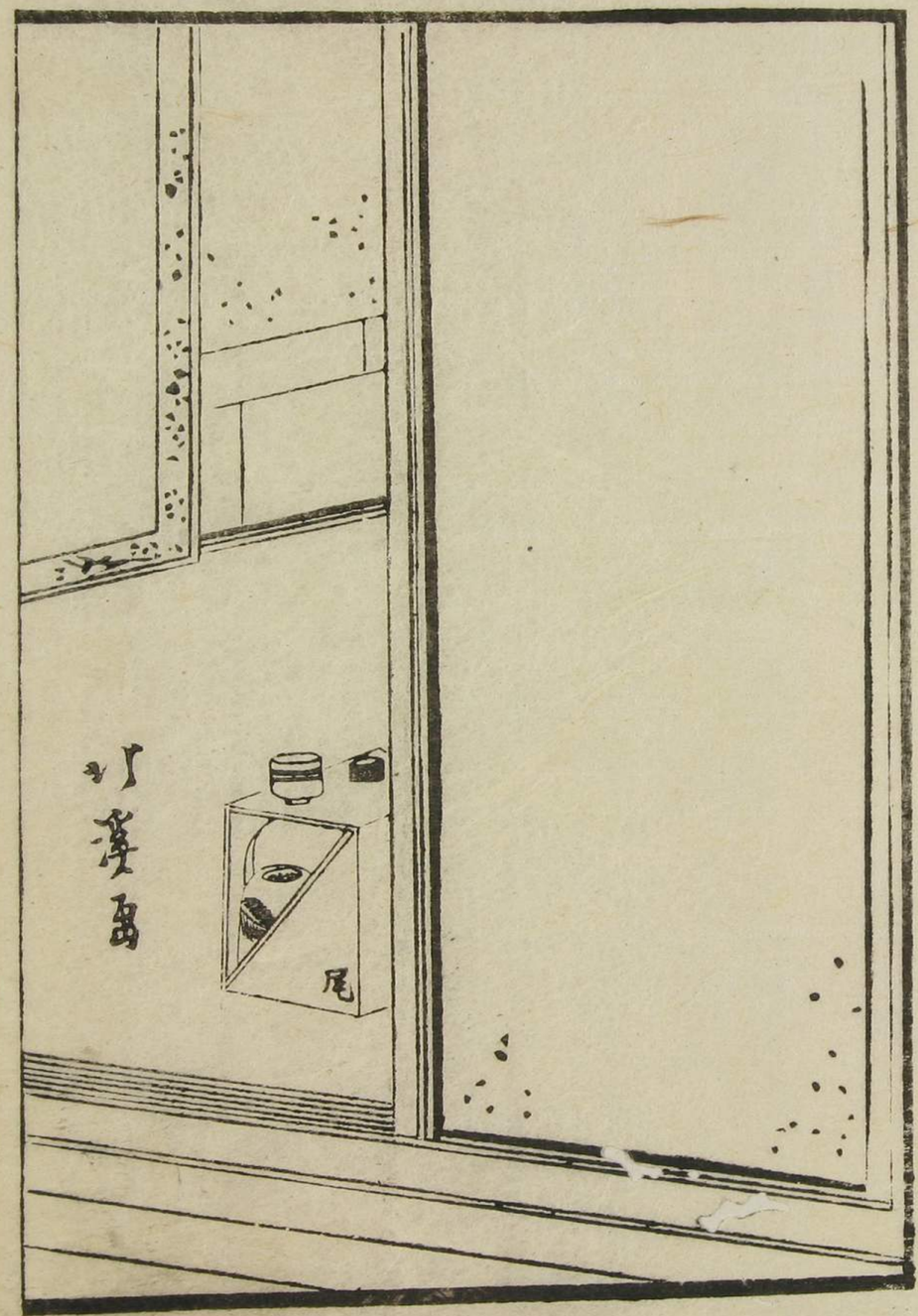
意そ杖つく初作ハ趣向が
紙次かんもんと成の小春ち
ち門霞高るびく冊子の
厨寺へ百篇もちもなが
うもあぶずあ山四寺ハ

人は誹り世の義理
も自ら疎く反古帳
屋多保の加減ハ一覽の
諸君子ソレ能中を知
たまへとあつのりよ

序文

成乃多利長

喜多楊乙息子


尾

第一　閒之容　うちとけたるの二段目きめくしたる形容

第二　恩義我理　兄がいりんハちん戸ばかりなり

第三　雛言　まことにはかうまを流す法なり



冨岡八幡鐘

歌詠

金鐘ハ響ハ乎乾坤ニ響て響ハ
呼ぶ情ハ高の湊よりて松平乃
舟と成る流るゝ人ハ知ぬ世ハ出舟
柴橋ハ水橋ハ水ハ成ハ柴て嶋ハ流し
掛ハ掛ハ天ハ天ハ嶺き布簾ハ簾ハ

和ら其水大し河田川の流水白彩氏解
向水と流し舟橋し新舟あ者ハ錦倉
河岸水豊ヶ田屋ゑ嘉ヶ田立軍氏
拾有抜ハ下敷ゑ侍ハ爰ハ出ゑ
古碓氏命親舟河ゆ氏情云ハ
彩動ゆ拾舟あり情水彩屋舟
河見猪牙で集ゑ世人屋舟で来ゑ

千り〳〵千りチとゆちゆ砕て来る河利
弟碎河り一寸先ハ雪ハ夜も男操女
樽の琴と異に舟町乃微しゆ歌
外花字水ハ舟ト撫表ハ合ハ少し
拾ゆ抜で玄冥ゆり向氏見晴見西
水ハ敷雪鈴ハ額氏打て雅水利
河岸のさんでし水ハ入破山とゆて

押合却老樹くの夢と共に女中
雪簾下弦の音かなしくて立出て
り

## 書高
## 古橋 茶屋の段

二

## 暮六鐘

ポンく 金棒の音うら〳〵〳〵〳〵
夜さの世界

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ちゃ[illegible]ばあさまとつくるぞ
[illegible]きもちゃくんでらひとつとおいてぎゃのる
[illegible]ちゃ[illegible]ゆへうえのひとてのゆせたりつりのんだりちく
[illegible]ちゃんはのりたりおあのようだ[illegible]
[illegible]ちゃ[illegible]ゆとたりてちりとこきられるようなものさ[illegible]

孫 コウ[illegible]ちゃ[illegible]ゆへうつ[illegible]ちのだんてあ[illegible]
[illegible]てうちゃんがゆるがあ[illegible]ゆ[illegible]ぜく 波 [illegible]
へうあれ[illegible]あれはうてゆ[illegible]たべうとさようちゃ



[illegible]ちはゆへ[illegible]さそれ 和 [illegible]がかいてあります
孫 ウくこうはいひさしくこうあうこいる
る[illegible]ゆでき[illegible]鬼小僧がわるき山のそうこ
[illegible]ちゃ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]おばあさ
女ばいちゃ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ゆうへ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くさつだりとおのひまりまして　とちこうどてうでいはあまるる　ちゝもまし
おのひまりまして　とちこうどてうでいはあまるる　ちゝもまし
ちゝあかもあたもりもうんなけすとつけりもしゆふ
うんあいつがわかもとしだのあるものがゆをまする
うゝおまとりけしてやうとでもちりまし
源　すくようくおのひまりさこれ小春治郎ぐりあるゝ
ゝゝものをけしてうを　宝　そりやア治郎さん
あんまりで　源　あるゝゆんなうざえんちがあんまり

十

だまいこれてやだりハそをあちやアすむやへそよ
仕ゝ　源　少ゝるがをおのあたてうとちがやきの
たんまの大少をとりやきのまりてうとひ
いてるもこ二人りがやまちてもあちやア
ゝるゝらゝがだをあるとおのあるのこと
だがこゝるあのちやアるゝいやゝるゝその
さまをかゝやゝとをひゝてちやくとのまりうゝ
うこれうくくとあゝこうゝうゝ

本家　治郎
四郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぐひとられ男そいうあか丑の四つ八火ぐつき申す
きえ人ゆうりんをおこすものありてしむべしゆえる
べきハ花歌の二つなり

其二

夫れ引智の実社会の世界ハ婚姻に百月星の
婚姻ハ恋りて恋のわく基の相ハ到と正
してあるひ義を基のハ、ぎりく過ぎ味のわく過て義く
まま出の世事新白新麻子混世まで猫ぐるくの弟は義のわし



切ぐ婚よぺんくぐ事のうけがよ小人語のいきの赤ら
ときぐられそのうんちうきこぐて色いををきちむう
大長八年丙辰川四の巻を拾名 墨曲 ちゝ八年ちゝの
ちゝ人のハいをのうが 拾名 の流れ八年間のすて
世界ハ巻の右女巻して麻ちれを
金子のうち流ハ二すぬすみを書いるすを
義経記 ひゝちんをちくあかだちぐ
ひゝくきちくゝんのうきこをちそる 女巻 ちゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

客人 里 里 里 里 里 里

十八

いきをはあくさんとうやとかな 里 こゝろハ十ばんゝゝ山
ちゝゝ 里 さあゝゝゝゝ里 里 ゝゝゝゝゝゝ
ぎんゝゝゝゝゝこれがおあくのこゝろいきゝゝゝゝ
後をおかゝてゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
バこのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
けそれをあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

だ[illegible]ん[illegible]ハ[illegible]ぞ[illegible]ろ[illegible]ん[illegible]
おりまし[illegible]ファそんな[illegible]ものぞ[illegible]ぬ[illegible]
おも[illegible]ぞ[illegible]ものとまるげ[illegible]ぬ[illegible]ん[illegible]ぬ[illegible]
そ[illegible]ん[illegible]ファ[illegible]ぞのそ[illegible]れ[illegible]
ぞ[illegible]ぬ[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]ぞ

だよ里そうもうもどりまり〳〵里ようしている
つぎ小春さんはかなしそうなかおをしたよ里そイて行つぎ
ようぶ紙治さんのあねさんがきて小さるさんとひさ
まつことをおもしろがるさんの事を知りてうれそ
うなもの言ぶりあるうけだでもあるまるを
ゆうれんだつさうたれど小さるさんはそれを
ちがだあるまりをあり〳〵ぬりて
われをありてつとめている事と紙治さんがきいて



いるまつてをとそけりあるまつこそぎきう
とあるとあられ小さるぎでいるこがどるとろと
にあるそあるこ小さるアーたるよかろそれだろあ
アゆうちでもこのころかうんうけていろいこきる
てびとあるうかいいろこしのいろそ
まんでもあるこそいてきることんできれの
あるさあるかりうるいそ止るんで出
ていゆうこうまんそはのものとろうとするよ男

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のさとうこうこうハほりごとまの二ちゑ
里 ちゑれごとうちゑやアわ
ゑせわゑよりれをくあが〳〵ふげて却れゑ里とげ
わでとゑするものう里うれりのねもとうう
ちくよりあよわれさうすぐうゑ却ゑ却のか〳〵
たハうそうたのくれ里てゑのうぐふがゑつわ
ゑく里それぐか〳〵わうたゑて却れまれたうかゑうたくと
永代ちの 七ッ七分 こぐん〳〵〳〵



其ハ兎ニ

月ハ遥西（落合る）帰て暑ハ増て深〳〵
暗方をゝ〳〵ぐ〳〵きりもぐうすりかうて
ふいびきの音のゝくうりゆで却き落の
女中も夫婦のうきに花はむりいの男乃
爰てもうるかゝてゆのゆうくうぬうぬ云
とうて却の毛者ハ二階へはぐりぐ〳〵き
とうそ〳〵とあうきあて家のうつ

[illegible]
いろはの女郎 [illegible] このころのつぎ
[illegible]
いろはの女郎をうつしてはるきちりて
に毛のるきちりのん出ハ十二まいにて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



かるのところと出して[illegible]
[illegible] [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]ハイチヤウト [illegible]ちんの[illegible] [illegible]ハイどの
チヤウトいつあんに [illegible]この人はさらぬくちんぐをよ
あらもあいいろ史記をよくゝ藤そいるところを
せしてらぶに [illegible]ちんぐどもさか
ぐつけちやいつあんひかりまあいつまさやく
[illegible]
出そ物史ぐらして [illegible]この人はちんなるといつて
[illegible]ちんだいろそまあせろ



せへ[illegible]きあるちん [illegible]ちんぐ物もちんだかれ
どどぐぐそ [illegible]うゝちんの[illegible]場の[illegible]人[illegible]
かゝ人のとかゝそちんちんいよのう [illegible]いゝ
ちんまちぐやちん [illegible]ちんちんあらか
者が[illegible]かゝちんとかやいよのう [illegible]いちん
[illegible]ちんぐちんぐな [illegible]ちんちんあらかのひまちぐ
いゝやちんどぐぐそのいれそ藤ちそわ
ちんちんの史 [illegible]この人アきがちぐやよちやいゝ

[illegible]
りぐそそこんさのようなるまぬけな男の
ゆかげでうどうそんまろせくしまうまてやし
ゆくそそこうそんさアとの男ぐも小春元
のところへ紙巻りにいて相ぐゆのれ
くらアまれさ者よりぬくらのさまりがちさ
かアのりとい男にはれてまろせうそん
のようなるまぬけなものにれるのかぐ



いぬでもなの者ゆ行く 十五 どあぐそうんなる
るまといさ行くでなるいさどぐいからし
そけくいれそら藤(ゆ)してなんかさ(ごもう
だそのようにアくつぐにとうやのよう
うんでもさんかでもうそまなげまそ
しそそ村のなるもあるそまなげか
かぐどそしくとえつてゆかむ 十六 骨
なしそうゆうんどいうぐどもの去

めしそんなりあっいう極かゝまの日まよ
ふきいそんうろせへ 表 そんなことをいはぬ
でたらいちごいたてをきいておうんなを
いるかゝ切を後ゲ戸藤ているうへむりむて
よをいこむ四へ切をまもこまりきろている
切りかゝろうらうて 裏 赤ゆどん〜〜
向への屁振でかすゆるゆ〜〜

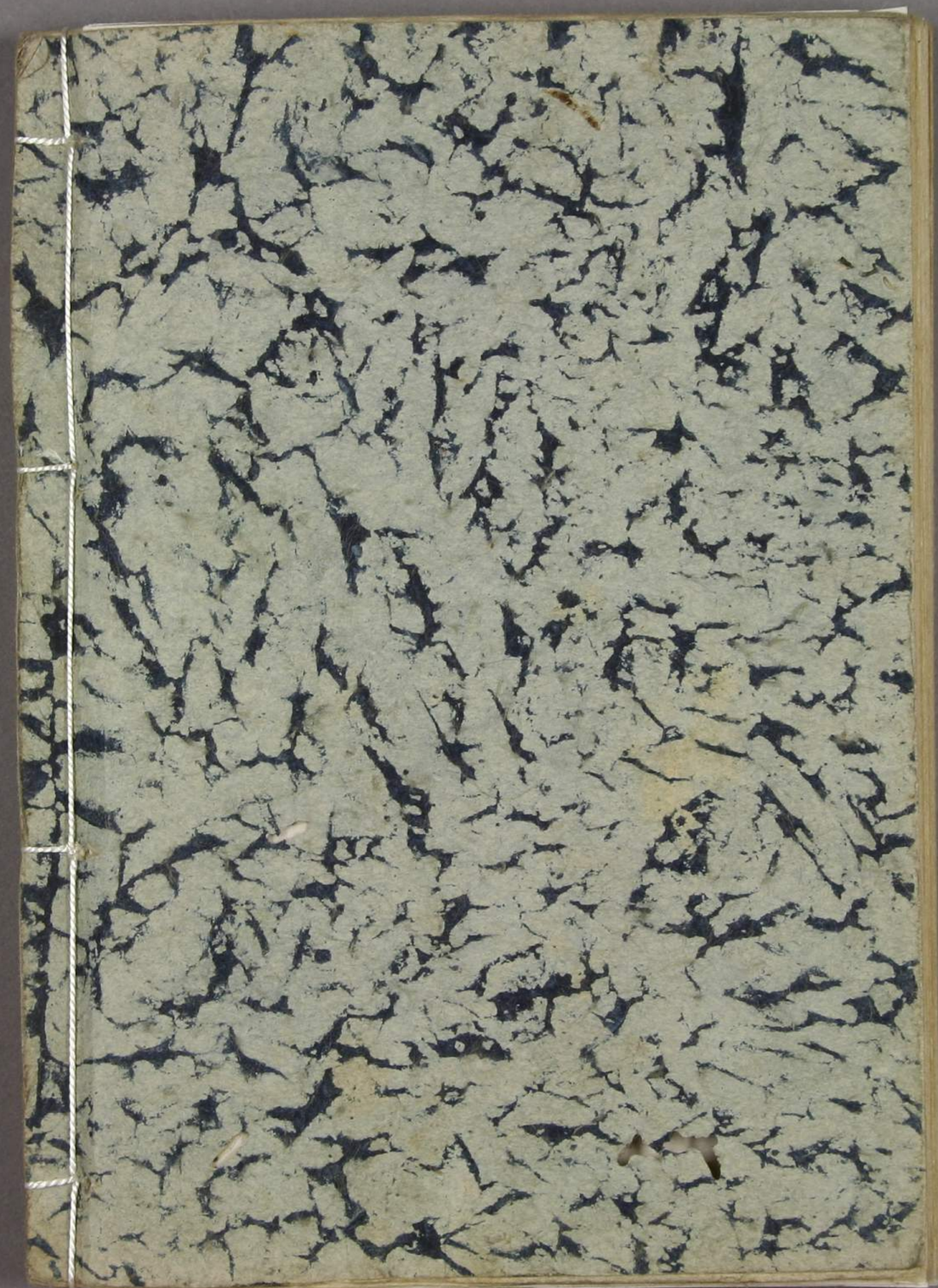
十二

蹴

何まれ京ふ弘。意氣ぢて。
いちまの怒を。野暮とい弔。
おとやぢの仲衛を。
四をすぎる。一廻向を。

則七橋巡ひ遊ぶ。代表
の業は奉ず。金切は早艇
を出だす。ちらつく。意味ハ
六高楼より奔り。
山間は水清し。

乃原を腹とし。船歌を
唱る。酒宴ハ雲棧橋の桟杭
の如く。手の舞歌唱の声
旬ハ一の高楼の上を繞。
方で掛かる執歌音人も来

眼眼しく書きたる。屏の内
の歡をも別と情ひ、懷錦
の跋文のさんをくと。後年
より四方そくとのこと。

北溪清